

土木広報センター ニュースレター (No.1)

発行日	2017年 4月 28日
紹介者	土木広報センター センター長 依田 照彦 (早稲田大学名誉教授)

土木広報の目指すところ

土木学会に広報を考える企画広報室ができたのは、「土木の日」(11月18日)が制定された1987年です。その後、2012年4月、大石久和・次期会長(前日本道路協会会長)を委員長として土木広報アクションプラン小委員会が設置され、2013年8月に土木広報アクションプランの報告書がまとめられました。報告書の副題は、「『伝える』から『伝わる』へ」で、まさに広報のアクションプランでした。

2014年に創立100周年を迎えた土木学会の『社会と土木の100年ビジョン』, それを受けて策定された2015年度から5年間の行動計画『JSCE 2015』に基づき、2015年6月、土木界の広報インフラの運営・推進を担う組織として、土木広報センターが誕生しました。

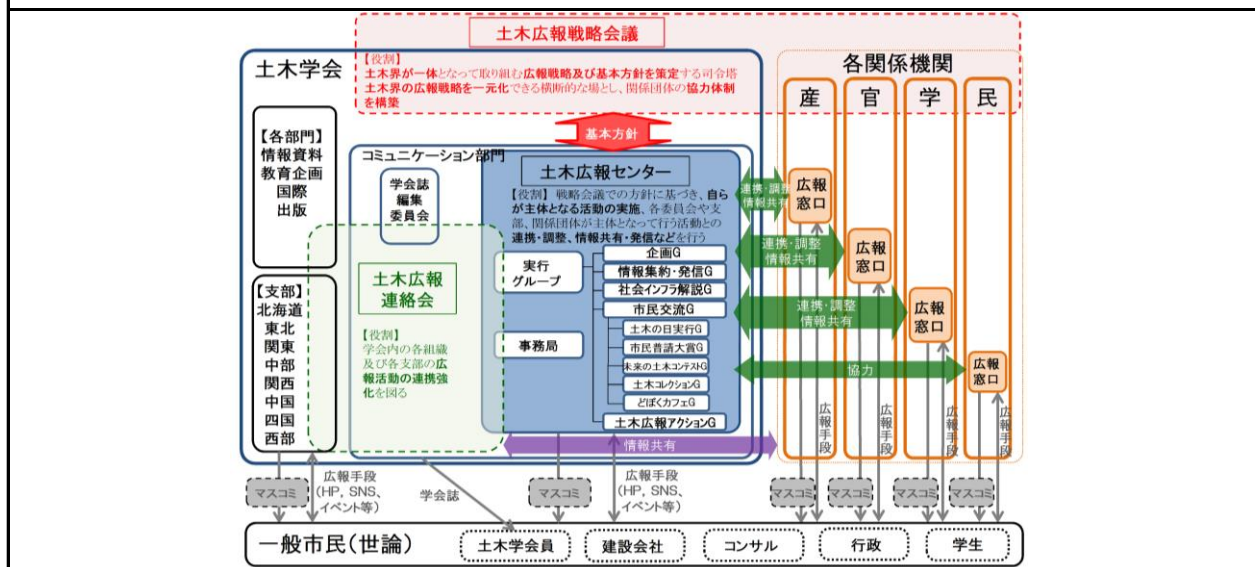
以上の経緯を踏まえ、土木広報センターでは、全ての土木関連の学会や組織、土木技術者に対し、「不言実行」から「有言実行」への意識改革を呼び掛けるとともに、土木のことを少しでも多く知っていただき、市民との繋がりをより緊密にするため、8支部の協力を得て、広報の全国展開を図っています。

広報戦略を担う組織は、産官学全ての分野が参加して広報の戦略を練る「土木広報戦略会議」、学会内の各組織及び各支部の広報活動の連携強化を図る「土木広報連絡会」、そして、実働部隊である「土木広報センター」の3組織です(図参照)。さらに、土木学会が発行している『土木学会誌』との連携も大切にしています。


土木広報の目標を要約すると、次の4つです。

- ① 東日本大震災の経験と教訓を継続的かつ効果的に国民に伝え、次世代に引き継ぐこと。
- ② 社会資本が果たしてきた役割と意味を正確かつ分かり易く国民に伝えること。
- ③ 今後、整備が必要な社会資本を、生活を支える真に必要なものとして国民に伝えること。
- ④ 社会資本整備に係わる関係者の役割や活動を国民に伝えること。

具合的な取組みについては、次回以降に報告します。



問合せ先: 公益社団法人 土木学会 土木広報センター 山本、佐藤
 〒160-0004 東京都新宿区四谷一丁目外濠公園内
 TEL: 03-3355-3448 E-Mail: cprcenter@jsce.or.jp

名 称	日刊スポーツ新聞紙への広告掲載
広報対象	(B-I) 家族・主婦、(B-III) 一般市民・利用者
活動期間	2017年2月～3月
場 所	日刊スポーツ新聞 紙面
担 当	土木広報センター 山本佳正
状 況	
内 容	<p>・昨年2016年11月18日に「土木の日」について、土木学会が日刊スポーツ紙面にて告知したことをきっかけに、日刊スポーツ新聞からの協力(廉価・終面への広告枠)を得られることになりました。</p> <p>これを機に、土木界からのメッセージの発信とともに、会員サービスの一環として、土木学会法人会員会社の採用広告を掲載する枠を用意し、2017年2月～3月までの予定で掲載しているものです。</p> <p>今後、この広告掲載による効果(問合せ数、採用試験申込み者数、等)について、各社へヒアリングしていく予定です。</p>

問合せ先: 公益社団法人 土木学会 土木広報センター 山本、佐藤
〒160-0004 東京都新宿区四谷一丁目外濠公園内
TEL: 03-3355-3448 E-Mail: cprcenter@jsce.or.jp



名 称	「ドボ博」PRへの協力依頼活動																																																												
広報対象	(B-Ⅲ)一般市民・利用者																																																												
活動期間	【東京都】：2017年2月1日～4月30日(予定) 【関東地整】：2017年1月23日～5月末日(予定)																																																												
場 所	【東京都】：新宿駅西口デジタルサイネージ、建設局報、等 【関東地整】：地整ウェブサイト、道の駅SPOT、治水資料館「アモア」、等																																																												
担 当	土木広報センター事務局																																																												
状 況	  <p style="text-align: center;">《新宿駅西口デジタルサイネージ》</p>																																																												
	 <p style="text-align: center;">《知水資料館「アモア」》</p>	<p style="text-align: center;">道の駅SPOT導入駅一覧 直轄一体型 →すぐリンク可能</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>県名</th> <th>道の駅名</th> <th>整備形式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">茨城県</td> <td>ごか</td> <td>直轄一体型</td> </tr> <tr> <td>まくらがの里ごか</td> <td>直轄一体型</td> </tr> <tr> <td>常陸大宮</td> <td>県一体型</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">栃木県</td> <td>みかも</td> <td>直轄一体型</td> </tr> <tr> <td>想川</td> <td>直轄一体型</td> </tr> <tr> <td>しもつけ</td> <td>直轄一体型</td> </tr> <tr> <td>もてぎ</td> <td>県一体型</td> </tr> <tr> <td>ましこ</td> <td>県一体型</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">群馬県</td> <td>こもろ</td> <td>直轄一体型</td> </tr> <tr> <td>おおた</td> <td>直轄一体型</td> </tr> <tr> <td>中山盆地</td> <td>単独型</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">埼玉県</td> <td>川口・あんぎょう</td> <td>直轄一体型</td> </tr> <tr> <td>おかべ</td> <td>直轄一体型</td> </tr> <tr> <td>庄和</td> <td>直轄一体型</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">千葉県</td> <td>やちよ</td> <td>直轄一体型</td> </tr> <tr> <td>奈業里あさひ</td> <td>単独型</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">山梨県</td> <td>甲斐大和</td> <td>直轄一体型</td> </tr> <tr> <td>富士川</td> <td>直轄一体型</td> </tr> <tr> <td>つる</td> <td>単独型</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">長野県</td> <td>上田道と川の駅</td> <td>直轄一体型</td> </tr> <tr> <td>信州富木宿</td> <td>直轄一体型</td> </tr> <tr> <td>しなの</td> <td>直轄一体型</td> </tr> <tr> <td>信州新町</td> <td>直轄一体型</td> </tr> <tr> <td>長野市大岡特産センター</td> <td>直轄一体型</td> </tr> <tr> <td>あおき</td> <td>県一体型</td> </tr> </tbody> </table>  <p style="text-align: center;">《道の駅SPOTでのリンク貼付け》</p>	県名	道の駅名	整備形式	茨城県	ごか	直轄一体型	まくらがの里ごか	直轄一体型	常陸大宮	県一体型	栃木県	みかも	直轄一体型	想川	直轄一体型	しもつけ	直轄一体型	もてぎ	県一体型	ましこ	県一体型	群馬県	こもろ	直轄一体型	おおた	直轄一体型	中山盆地	単独型	埼玉県	川口・あんぎょう	直轄一体型	おかべ	直轄一体型	庄和	直轄一体型	千葉県	やちよ	直轄一体型	奈業里あさひ	単独型	山梨県	甲斐大和	直轄一体型	富士川	直轄一体型	つる	単独型	長野県	上田道と川の駅	直轄一体型	信州富木宿	直轄一体型	しなの	直轄一体型	信州新町	直轄一体型	長野市大岡特産センター	直轄一体型	あおき
県名	道の駅名	整備形式																																																											
茨城県	ごか	直轄一体型																																																											
	まくらがの里ごか	直轄一体型																																																											
	常陸大宮	県一体型																																																											
栃木県	みかも	直轄一体型																																																											
	想川	直轄一体型																																																											
	しもつけ	直轄一体型																																																											
	もてぎ	県一体型																																																											
	ましこ	県一体型																																																											
群馬県	こもろ	直轄一体型																																																											
	おおた	直轄一体型																																																											
	中山盆地	単独型																																																											
埼玉県	川口・あんぎょう	直轄一体型																																																											
	おかべ	直轄一体型																																																											
	庄和	直轄一体型																																																											
千葉県	やちよ	直轄一体型																																																											
	奈業里あさひ	単独型																																																											
山梨県	甲斐大和	直轄一体型																																																											
	富士川	直轄一体型																																																											
	つる	単独型																																																											
長野県	上田道と川の駅	直轄一体型																																																											
	信州富木宿	直轄一体型																																																											
	しなの	直轄一体型																																																											
	信州新町	直轄一体型																																																											
	長野市大岡特産センター	直轄一体型																																																											
あおき	県一体型																																																												
内 容	<p>東京都・西倉建設局長、および関東地整・大西局長へ、田代会長から「ドボ博」PRについて協力をお願いしたところ、「ドボ博」PR映像の掲出場所、ウェブサイトへのリンク貼付け、チラシの配布場所、など、様々な協力を頂いたものです。</p> <p>これらの活動の結果、「ドボ博」サイトへのアクセス数は、日平均400件程度だったものが、現在では1000件を超えるほどになり、そのPR効果が出ています。</p> <p>また、このPR活動について担当者レベルでやりとりをさせて頂く過程で、各機関とのつながりを構築することができ、今後の連携にも効果が期待できるよい活動となりました。</p>																																																												

問合せ先：公益社団法人 土木学会 土木広報センター 山本、佐藤
〒160-0004 東京都新宿区四谷一丁目外濠公園内
TEL: 03-3355-3448 E-Mail: cprcenter@jsce.or.jp

名 称	公益社団法人日本道路協会 月刊誌「道路」巻頭インタビュー
広報対象	(A-I) 土木関係者
活動期間	2017年2月
場 所	巻頭インタビュー
担 当	土木広報センター 依田照彦
状 況	 <p>月刊誌「道路」 2017年2月号 掲載分</p>
内 容	<p>・公益社団法人日本道路協会の月刊誌「道路」にて、土木広報センター・依田照彦センター長が関東インタビューを受け、「動き出した土木学会の広報の狙いと野望を聞く」と題した記事が掲載されました。</p>

問合せ先：公益社団法人 土木学会 土木広報センター 山本、佐藤
〒160-0004 東京都新宿区四谷一丁目外濠公園内
TEL: 03-3355-3448 E-Mail: cprcenter@jsce.or.jp

名 称	第4回土木à la mode 「撮ることで気づくこと、描くことで気づくこと、ぼくらドボク楽しんでいます。」
広報対象	(A-Ⅲ)土木マニア・ファン・シニア、(B-Ⅲ)一般市民・利用者
活動期間	平成29年3月23日(木)18:30-20:00
場 所	土木学会 講堂
担 当	企画グループ長 大幢 勝利
状 況	<p>今回の土木à la modeでは、「撮ることで気づくこと、描くことで気づくこと、ぼくらドボク楽しんでいます。」と題し、「ジャンクション」「団地の見究」などを出版されているフォトグラファー／ライターの大山顕氏と、「モリナガ・ヨウの土木現場に行ってみた！」の著者であるイラストレーターのモリナガ・ヨウ氏をお招きしてお話を伺いました。</p> <p>土木à la modeとは：土木に関して幅広く、旬の話題を取り上げ、ゲストをお招きして気軽にお話を伺おうという、社会とのコミュニケーション活動の一環として企画しているものです。</p>  
内 容	<p>土木施設や土木現場を数多く観られてきたお二人。当日は、溝淵利明氏の進行で、大山顕氏からはフォトグラファーとして撮ることで気づくこと、モリナガ・ヨウ氏からはイラストレーターとして描くことで気づくことについて、それぞれ思うことを語っていただきました。</p> <p>話題は、土木現場では当たり前にあるタワークレーンや足場、トンパックといったモノへの素朴な疑問から、現場におけるバルーン投光器(ぼんぼり型の照明)の導入エピソードや竣工前に綺麗に切断されるH鋼の秘密などマニアックな視点まであり、たくさんエピソードを通して、写真とイラストにおける表現方法の違いが分かり、大変、楽しいイベントとなりました。</p>

問合せ先：公益社団法人 土木学会 土木広報センター 山本、佐藤
〒160-0004 東京都新宿区四谷一丁目外濠公園内
TEL：03-3355-3448 E-Mail：cprcenter@jsce.or.jp

名 称	第48回報道機関懇談会
広報対象	(C-I)報道関係者
活動期間	平成29年4月13日(木)10:00-11:00
場 所	土木学会AB会議室
担 当	企画グループ長 大幢 勝利
状 況	 <p>テーマ 「一般市民向けのウェブサイト「土木①」(どぼくアイ)の開設」、「国際センターの最近の活動報告」</p> <p>話題提供者: 土木学会 会長 田代 民治(鹿島建設(株)) 土木学会 土木広報センター次長 小松 淳(日本工営(株)) 土木学会 専務理事 塚田 幸広 司会: 土木学会 土木広報センター 企画グループ長 大幢 勝利(労働安全衛生総合研究所)</p>
内 容	<p>平成29年4月13日(木)10:00から土木学会AB会議室にて「一般市民向けのウェブサイト「土木①」(どぼくアイ)の開設」と「国際センターの最近の活動報告」をテーマとして第48回報道機関懇談会が開催されました。</p> <p>土木学会では、念願であった土木界の情報を一元化した一般市民向けのウェブサイト「土木①」を平成29年4月14日に開設いたしました。</p> <p>土木広報戦略会議では、土木広報の方向性(キーワード)として、①くらしと土木、②伝えるから伝わるへ、③知りたくなる土木、を提唱いたしました。その方向性に沿ったものとして、「土木①」(どぼくアイ)には、土木広報の私たちの身の回りにあるさまざまな「土木」について、土木学会の枠を超えて土木界の情報を集約し、見たいところを見たいときに、知りたいことを知りたいときに、すばやく情報が取り出せることを目指します。「どこかによい見学先があるか」「学習の参考になる講習会はあるか」が探し出せるように、まずは、土木に関係する機関や団体、学協会の行事情報をできるだけ集めて検索できるようにしました。今後、情報の範囲を広げてリンクやコンテンツを充実させていきます。</p> <p>また、最近の国際センターの活動に関して、ベトナムやミャンマー、台湾等で行った国際交流をはじめ、「インフラ産業グローバルビジョン講演会」シリーズや「世界で活躍する日本の土木技術者」シリーズ、2019年4月に東京で開催されるCECAR 8等の行事について紹介いたしました。</p> <p>さらに、この度発行いたしました「日本土木史 平成3年～平成22年 -1991～2010-」についてもご紹介いたしました。</p>

問合せ先: 公益社団法人 土木学会 土木広報センター 山本、佐藤
〒160-0004 東京都新宿区四谷一丁目外濠公園内
TEL: 03-3355-3448 E-Mail: cprcenter@jsce.or.jp

名 称	土木学会Facebookページ いいね！ランキング				
広報対象	(B-Ⅲ)一般市民・利用者				
活動期間	2017年2～3月				
場 所	土木学会Facebookページ				
担 当	土木広報センター 情報集約・発信グループ長 小松 淳				
状 況	Facebookページへの合計いいね！27,257 (2017年4月19日現在)				
	【2017年 2月 いいね！ランキング】				
	2017年02月01日～28日集計結果				
	順位	いいね	シェアコメント	投稿メッセージ	
	1	1162	68	17	【いよいよ掘進開始です】外環道都内区間、2月19日に本線シールド発進式
	2	624	37	3	【東京大改造】国道357号東京港トンネル、東行きが貫通
3	615	40	21	【ニュース動画】米 巨大ダムの放水路壊れ 19万人に避難命令 [53秒]	
4	613	32	6	【長崎県】出島に38mの橋架設 江戸時代と同じ目線を体験 [動画あり44秒]	
5	600	52	19	【乗りものニュース】高速道路から「道の駅」立ち寄り可能に 一時退出の特例試行実施へ	
				2017/03/23集計	
	【2017年 3月 いいね！ランキング】				
	2017年03月01日～31日集計結果				
順位	いいね	シェア	コメント	投稿メッセージ	
1	875	32	12	【鉄道車両】真昼の陸上輸送 3万人が見学 山口・下松	
2	697	70	21	【ニュース動画】国内の重力値の基準 約40年ぶりに改定 [1分16秒]	
3	664	62	12	【国土交通省】現場打ちコンクリ 基準見直し/スランプ値12cmベース	
4	639	59	12	【ロマンの木曜日】エッシャーのだまし絵みたいな歩道橋があった	
5	631	54	12	【ニュース動画】JR貨物 鉄道事業が黒字転換へ 物流に鉄道を利用する動き [4分11秒]	
				2017/04/18集計	

問合せ先：公益社団法人 土木学会 土木広報センター 山本、佐藤
〒160-0004 東京都新宿区四谷一丁目外濠公園内
TEL：03-3355-3448 E-Mail：cprcenter@jsce.or.jp



名 称	オープンキャンパス土木学会2017
広報対象	(B-I)家族・主婦
活動期間	2017年7月8日(土)
場 所	土木学会本部
担 当	土木広報センター・コンサルタント委員会市民交流研究小委員会
状 況	<p>今夏、土木学会では「オープンキャンパス土木学会2017」と称して、土木学会本部構内(東京都新宿区四谷)を開放し、多くの方々に土木の魅力を感じていただける場を提供します。</p> <p>日頃、仕事や研究で土木に携わる方々やその家族、土木分野への進学・就職希望者などにお越しいただき、土木の新たな一面に触れ、興味・関心を一層深めていただくのがねらいです。</p> <p>また、地域・社会に開かれた学会として、地域の方々もお招きし、学会が有する多彩な知見や資源を社会へ還元し、貢献していくことも目的の一つです。</p> <p>なお、このイベントは、コンサルタント委員会市民交流研究小委員会が、毎年、全国各地で開催している「土木ふれあいフェスタ」が原点となっています。そのため、あまり土木を存じない一般の方々にも、土木への理解・関心を深めていただけるよう、さらに</p> <p>小学生の自由研究としても活用いただけるよう「実験・体験広場」や「クイズラリー」、「土木シアター(ミニ映画館)」、「ロボ博(展示コーナー)」など、多彩なメニューを取り揃え、未就学児童から大人の方まで幅広く楽しめる催しとなっています。</p> <p>ぜひ、ご家族やご友人などお誘いあわせの上、土木学会へお越しください。</p> <p>■開催日時 平成29年7月8日(土) 11:00~16:00</p> <p>■開催場所 公益社団法人 土木学会 東京都新宿区四谷一丁目外濠公園内</p> <p>■主催 公益社団法人 土木学会 土木広報センター/ コンサルタント委員会市民交流研究小委員会</p>
内 容	<p>・毎年、特定の日(ex.7月第一土曜日)に学会本部(講堂、会議室、他)を開放し、学会関係者やその家族、土木分野への進学、就職希望者等、を招いて、様々な体験型プログラムや映画鑑賞会、講演会などを開催し、聞いて、見て、ふれて、「土木」への理解を深めて頂く場を提供する。</p>

**オープンキャンパス
土木学会2017**
~くらしを支える土木~

土木を知る
土木にふれる
土木を語る
家族で土木を感じる
絶対のチャンス!

日時
平成29年7月8日(土)
11:00 ~ 16:00

場所
公益社団法人 土木学会
東京都新宿区四谷一丁目 外濠公園内

主催
公益社団法人 土木学会
土木広報センター/
コンサルタント委員会 市民交流研究小委員会

夏休みの自由研究としても活用可能な「実験・体験広場」や「クイズラリー」、「土木シアター(ミニ映画館)」、「ロボ博(展示コーナー)」など、土木を体験・実感できる多彩なメニューを取り揃えた子供から大人の方まで幅広く楽しめる催しです。ぜひご家族でお越しください!

問合せ先: 公益社団法人 土木学会 土木広報センター 山本、佐藤
〒160-0004 東京都新宿区四谷一丁目外濠公園内
TEL: 03-3355-3448 E-Mail: cprcenter@jsce.or.jp